

令和8年9月14日

6年生保護者の皆様

刈谷市立富士松北小学校長

神 門 大 知

全国学力・学習状況調査の調査結果について

仲秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。

さて、4月23日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が、文部科学省より届きました。分析の方針と本校の結果（概要）を下記のようにお知らせします。個別懇談会で配付いたしました個人票と併せてご活用ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省及び愛知県教育委員会は、結果の公表について「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

なお、本調査結果は本校のホームページにも掲載します。

2 本校の概要

国 語	・ 伸ばしたい点がある。 ・ 考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解する力に優れている。 ・ 今後は、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力や、話や文章の種類とその特徴について理解する力を特に伸ばしたい。
算 数	・ 伸ばしたい点がある。 ・ 今後は、立体の体積の意味や求め方について理解する力や、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選択する力を特に伸ばしたい。
児童質問紙	日常生活では、朝食の摂取や起床時間など、基本的な生活習慣が身に付いている児童の割合が高めである。また読書を好み、身近な自然に親しんで生活している児童の割合がとても高い。 他者との関わり方については「いじめはどんな理由があっても許さない」「地域や社会をよくするために、自分にできることをしたい」という思いがある一方で「自分には、よいところがあると思う」「人と違う意見を積極的に発信したいと思う」児童の割合がやや低い傾向がある。児童の自己肯定感を高める指導・支援や、キャリア教育の更なる推進を図っていきたい。

※ 全国・県平均との比較では無回答率が低く、前向きに取り組もうとする様子がうかがえる。

※ 3教科とも記述式の問題の無回答率が低く、「書くこと」への意欲と力の高さがうかがえる。

【本件に関するお問い合わせ：刈谷市立富士松北小学校 教務主任 鵜飼 篤史（TEL：0566-36-5414）】